

PHN letters

「やめろっと言われても」さん、合格おめでとうございます！皆様の目標もぜひお寄せ下さい。

ありがとう！ やめろっと言われてもさん

3月号のPHNレターズに掲載させていただいた者です。念願の大学院合格を果たしました。受験に際し、1年間分の「保健師ジャーナル(保健婦雑誌)」を読むぞ！の宣言どおり、読みました。

「活用モデルの使い方」, なるほど, はじめて見るモデルもあって, 不安。「写真で見る保健婦活動の歴史」, へえ, こんなことがあったのか。「現場で使える調査法」, 大学院に入ったらもう一度読むぞ。「立川らく朝のヘルシートーク」もなかなか面白い, 授業もこう面白くできないものか? などなど, いっぱい吸収しました。受験にも, 今後にもおおいに役立ったと思います。ありがとうございます。

そして, 今回お礼を言いたい人たちがほかにいます。それは, 私が担任していた学生たちです。私が「英語が自信ない」というと, 昼休みに英単語や熟語の特訓をしてくれました。ホームルームを終えて教室を出ようとすると, 「勉強, 進んでいますか?」と声をかけてくれるし, 受験前日には「頑張ってきてください!」と応援までしてくれました。

私は, 13期生の学生に支えられたように思います。この支えがあったからこそ, 合格できたと思いました。

「13期生のみんな, ありがとう!」2年次を, 担任できないことが残念でたまりません。しかしこれからは, 13期生の学生と競争です。平成18年3月, この学生

たちが本校を巣立つとき, 一緒に卒業をめざす約束をしました。成績も公開予定なので, おちおちしてはいられません。4月から, しっかり学んで, 地域看護のすばらしさを伝えていきたいと思います。もう一度, 言わせてください。「13期生のみんな, ありがとう! 負けませんよ。フフフ!」

プレゼントのお知らせ

本誌3月号の特集『行政経営』で保健現場はどう変わる?」でもご紹介しました「ダイコン一座」の漫画本シリーズに新作が加わりました。

すでに一座でも演じられている「意識のバリアフリーシリーズ③ 天使のパン屋さん」です。今回の作画は, 松阪保健所の若い獣医師が担当されたとのこと。

発行を記念して, 先着3名さまにこの本をプレゼントいたします。

ご希望の方は, 「5月号プレゼント希望」と明記のうえ, 住所, 氏名, 電話番号(メールア

ドレス), PHNレターズへのご意見・感想とともにこのコーナーまでお寄せください。



「PHN letters」では, みなさまのご意見・感想・ご批判をお待ちしております。こちらまでどしどしお寄せください。なお, 掲載にあたっては薄謝(図書カード)を進呈いたします。

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3
FAX: 03-5804-0485
E-mail: hokenshi@igaku-shoin.co.jp
医学書院
『保健師ジャーナル』編集室 PHN letters係